



やまとの安全

令和5年1月19日
奈良県警察本部課
生活安全企画課
(犯罪抑止対策室)

特殊詐欺

県内の被害件数及び被害額(令和4年中・暫定値)

206件 約4億3,850万円
2000件以上

関連相談(令和4年中)

令和4年中の県内特殊詐欺被害は、前年と比較すると件数は105件増加しており、被害額も約1億340万円増加しました。1件あたりの被害額は平均すると約213万円と高額になっており、様々な手口で被害が発生しています。

市町村別被害件数・被害額(令和4年中)

市町村	件数	被害額(約)	市町村	件数	被害額(約)	市町村	件数	被害額(約)
奈良市	64	1億7,800万円	桜井市	6	1,140万円	宇陀市	2	80万円
橿原市	27	5,240万円	五條市	5	400万円	高取町	1	200万円
大和郡山市	23	8,340万円	葛城市	5	400万円	山添村	1	100万円
生駒市	21	3,900万円	王寺町	3	300万円	大淀町	1	100万円
天理市	10	2,050万円	田原本町	2	270万円	斑鳩町	1	50万円
大和高田市	10	740万円	御所市	2	250万円	安堵町	1	50万円
上牧町	9	750万円	平群町	2	250万円	明日香村	1	50万円
香芝市	7	1,290万円	河合町	2	100万円			

被害の多い手口

被害が多かったのは「キャッシュカード型」「還付金詐欺」「架空料金請求詐欺」でした。**手口を知っていることが被害予防につながります。**

●キャッシュカード型

金融機関職員を名乗り「カードが古いので交換する必要がある」などと言ったり、警察官等を名乗り「口座が不正利用されているのでカードを交換する必要がある」等と言ってキャッシュカードをだまし取ったり、すり替えられたりする手口

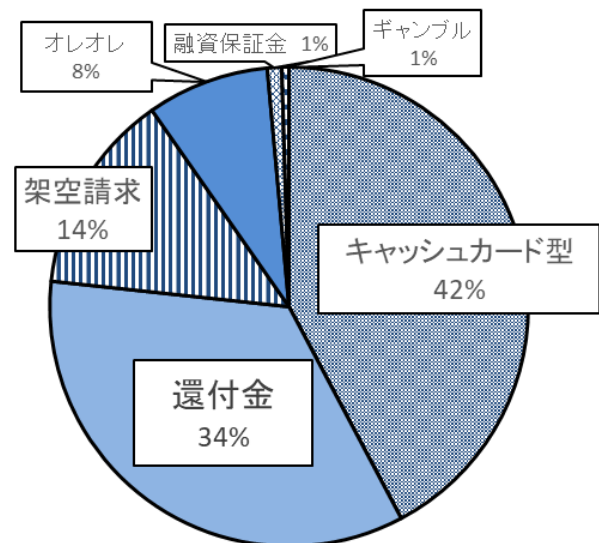
●還付金詐欺

市役所職員等を名乗り「介護保険の払戻しがある」等と言ってATMへ誘導し、手続きのためと操作方法を偽ってお金を振り込ませる手口

●架空料金請求詐欺

「入居権が当選した」などと言った後、「名義貸しは犯罪。解決金が必要。」等と告げて、現金を送らせたり、実在する企業を名乗り、「未納料金がある」等と言って指定した口座へお金を振り込ませる手口

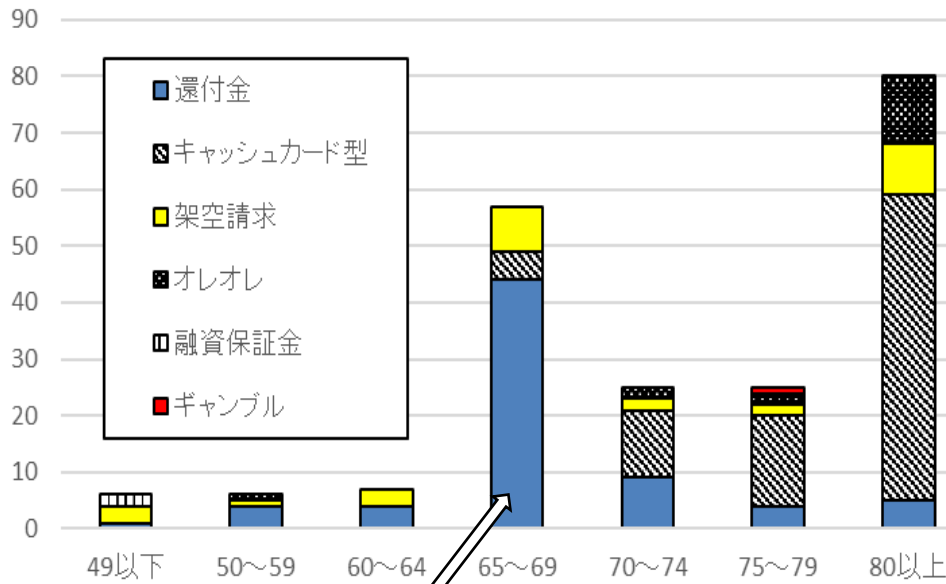
【手口別被害割合】



年齢別被害状況

被害者の約9割が65歳以上の方でしたが、高齢だからだまされやすいというわけではなく、犯人に狙われるリスクが高いということを示しています。

犯人は、皆さんがとコツコツ蓄えた財産を狙っています。「うちは大丈夫」という考えは禁物。一度だまされると定期預金や保険を解約したりしてお金を用意する方もいますので、だまされないための予防対策が大切です。



※ 還付金詐欺は65~69歳に集中
 ※ キャッシュカード型は70歳以上に集中

※「歳」は省略



特に・・・

65~69歳の方は、還付金詐欺にご注意！

◎ATMの操作により、還付金を受け取ることはできません。



70歳以上の方は、キャッシュカードをだましとられる手口にご注意！

◎金融機関の職員や警察官は、暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かることは絶対にありません。

防犯電話で被害予防を！

★防犯電話の便利な機能



優良防犯電話 検索

家にカギをかけるように、電話機に防犯対策をしましょう。

～自動録音～

「この通話は防犯のため録音されます」等というメッセージを流して、通話内容を録音する。

～迷惑電話ブロックサービス～

データベースと照合し、番号が一致した相手から着信があれば、呼出音を鳴らさずに、着信を拒否する。(ナパ-ディスプレイ契約が必要)



～非通知着信拒否や未登録番号への注意喚起～

非通知であれば呼出音を鳴らさずに着信を拒否したり、未登録番号であれば拒否したり、注意を促す機能もあります。(ナパ-ディスプレイ契約が必要)



被害の**約9割**は**自宅の固定電話への着信**から始まっています